



高村京子県議会報告

新型コロナウイルス感染症第3波の勢いが止まらず、昨年2月から医療機関や介護・福祉施設さらに保健所などケアで人を支える現場の皆さんは細心の注意を払いつつ大変なご奮闘をされ、敬意と感謝に堪えません。

また飲食店や観光業をはじめ、多くの商工業者は、かつてない深刻な経営不安の中におられると察します。感染状況を的確に把握するためPCR検査を広く実施可能にし、感染者の隔離・保護、ワクチンの安全性を確認の上での接種を求めます。

自粛には補償を！暮らしと営業への継続した支援を求めています。知恵を出し合い、連帯してコロナ禍を乗り越えましょう！



11月県議会で一般質問

①地域医療の充実支援を！

高村 コロナ禍、地域医療を守るためにも国が名指しした15病院を含む公立・公的病院の統廃合計画（地域医療構想）を県は見直し、役割を評価して病院存続を支援すべきです。

健康福祉部長 コロナ対応も公的・公立病院が担っていただき、感染症対策をはじめ、救急・災害・へき地医療など政策医療を担っているほか、身近な地域医療を支えており、県民の安全と安心を守る上で、極めて重要な医療機関だと評価しています。国にも支援を求めています。

阿部知事 11月に厚労省に感染症対策を加えることを求めました。少子高齢化も踏まえ、各医療圏調整会議での議論を尊重し、地域医療の充実に取り組みます。

高村 鹿教湯三才山病院の統合新築計画で、県が唯一指定する医療的ケアの必要な障がい者が利用する「療養介護事業所」のベッド

を80床から90床に充実する計画に、県として財政的支援をすべきです。

健康福祉部長 この計画は大変感謝しています。県として施設整備の支援とともに、国に対して施設整備補助事業の拡充、対象者の拡大、障がい福祉サービス報酬の拡大を要望します。

②介護事業所と職員支援へ

介護保険制度の抜本的改善を！

高村 介護事業所はコロナ以前から介護職員確保と経営不振に置かれ、コロナ禍で廃業や倒産が増えて深刻な事態にあります。介護職員の確保には働き続けることができるよう処遇改善、賃金の大幅なアップが必須であり、事業所への経営支援も求められます。国に強く要望してください。

健康福祉部長 介護職員の賃金は全産業の平均を下回っています。県として全国知事会を

含め、事業所経営安定化への緊急支援や介護職員の処遇改善を重ねて国に求めています。

③コロナ化で困窮する県民への支援対策を強めてほしい

高村 新型コロナの拡大で暮らしと雇用・営業が追い詰められ、年末年始を前に困窮する人が増えています。マイサポや社会福祉協議会の緊急小口資金や住宅確保資金を頼る人も急増しています。ひとり親世帯への支援も含め、年末の相談体制を強めてください。

健康福祉部長 ひとり親世帯へのアンケートを実施し、厳しい実態を把握しています。国による追加支援を求め、年末の相談体制の実施に向け関係機関と調整します。

産業労働部長 生活や雇用・営業にかかわる支援は国に強く要望しています。各圏域の観光商工課や労政事務所などで30日まで対応します。

産業労働観光委員会 経営団体と労組など4団体と懇談 11月27日と12月2日

県商工会議所からは、県内600社の飲食宿泊業の7割が小規模で、中核ホテルでもイベントも入らず苦しい。トラック・バス・タクシー業350社もかつてない経営の厳しさに直面していると語られました。

また県労働組合連合会からは命・雇用・生活を守るため、国や県による非正規労働者も含めた雇用維持・経営継続支援が求められているとの訴え。

旅館ホテル組合からは、Go To トラベルの恩恵はあるものの今後の不安は大きいとの訴えが。

中小企業団体中央会では県下各支部の代表が参加され、未曾有の経営危機に直面しており持続化給付金・家賃支援給付金・雇用調整助成金の追加給付を切望され、コロナ対策では休業を求めるなら支援金の補償をとの訴えがありました。

コロナ終息の時期が予測できない現在、命・雇用・営業を守るため、国及び県の手厚い継続支援を切望されました。

私は産業労働部・観光部の委員会でこの声を紹介し、県の対策強化を求めました。



11月27日



12月2日

ご意見・ご要望をお寄せください。

